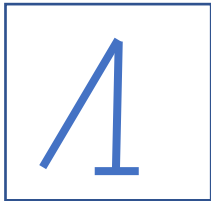
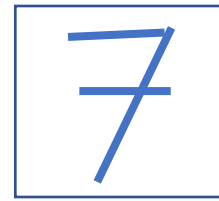


普通は個性かも!!



さて、これは何でしょうか!?



『 場所が変われば普通も変わる 』

【 日本を離れて分かること 】

海外に行って、初めて知ることがあります。それは、日本との違いです。これは、生活スタイルだけでなく、数字や考え方にまで及びます。上の①と②は、友人（フランス人）が書いていた数字になります。



これは、数字の1になります。
(斜線がついているのが特徴です)



これは、数字の7になります。
(横に線が入るのが特徴です)

初めて見た時は、個性的な数字の書き方に、衝撃を受けました。しかし、後から話を聞くと、友人も私に対して同じ感想をもったそうです。つまり、私が書いた数字の“1”と“7”が、個性的だということになります。

実は、ヨーロッパのほとんど人が上のような“1”と“7”を書くそうです。逆に、私が書く数字の方が個性的に見えるようで、それが新鮮に感じました。まさに、普通が個性へと変わる瞬間でもありました。この経験も、多様性について考えるきっかけにもなりました。

『 正解 』

【 変わり続ける環境の中で 】

「自分もっている正解が、誰かの正解ではない!!」これからの人生の中で、そんな場面に出会う時があるはず。その時こそ、あなたが一歩前進している証拠だと思います。

一歩前進する時は、大きな変化に出会う時でもあります。そこでは、あなたが今までもっている正解とは違う正解に出会うこともあるはず。それらの正解を、どのように受け入れるかは、あなた次第です。変わり続ける環境の中で、あなたらしい正解を大切にしてください。応援しています。



おすすめの本 🎵



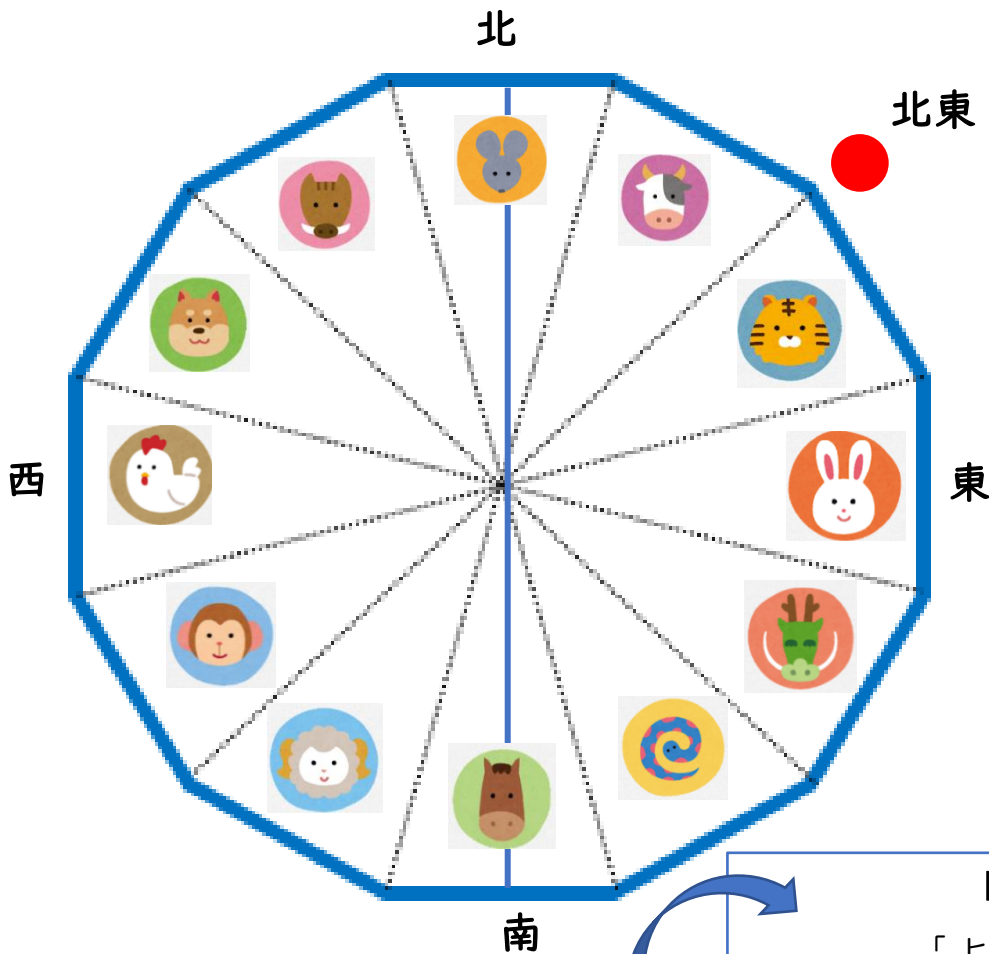
『 6カ国転校生 ナージャの発見 』



新しい季節を迎えるこの時期に、読んで欲しい本となります。6カ国の学校を転校した経験をもつキリーロバ・ナージャさんが書いたこの本は、“普通”が“個性”となる喜びや、あなたのもっている正解に対して、違う視点を教えてくれる一冊になると思います。機会がありましたら、ぜひお読みください。

※個人的には、「フランスの学校では、16/20が100点!?’という章が印象的でした。

クイズ:「未来への歩き方⑨」



【十二支】

子(ね)
丑(うし)
寅(とら)
卯(うさぎ)
辰(たつ)
巳(み)
午(うま)
未(ひつじ)
申(さる)
酉(とり)
戌(いぬ)
亥(いのしし)

【 疑問 】

「鬼の姿は…」

鬼の姿を想像してください!!①頭に角が生えており、②トラの毛皮を想像する人が多いと思います。実は、この姿になった理由があるそうです。(上の図を見てください!!)

【 解説 】

「 ヒントは方角 」

「鬼門」と呼ばれる、鬼が出入りする方角があります。北東(上の図の●)がその位置にあたるのですが、陰陽道では艮(うしとら)と呼んでいます。

つまりは、うし(角)とトラ(毛皮)の特徴を合わせて誕生したのが鬼となります。

【 さらに考察 】

<南北の線> ⇒子(北)と午(南)を結んだ線を、子午線と呼びます。社会の授業で、本初子午線について学びましたが、名前の由来はこの図からも分かると思います。

<午前と午後> ⇒1日(24時間)を十二支で表すと、午(うま)の位置が正午となります。午(うま)より前の時間なので午前、午(うま)よりの後の時間なので午後と呼ばれるようになったようです。

「 言葉は轍(わだち) 」

言葉の意味を知ることは、昔の人の想いに触れたり、新しい発見をしたりすることだと思っています。【誰かが残した言葉が、今に生きている】と考えると、この言葉たちを未来へつなげる使命が、我々にはあるのかもしれないね。過去から未来へのつながりを感じながら、歩いていきましょう!!

～ あなたの言葉を大切に ～